

困難に負けない子どもを育てよう

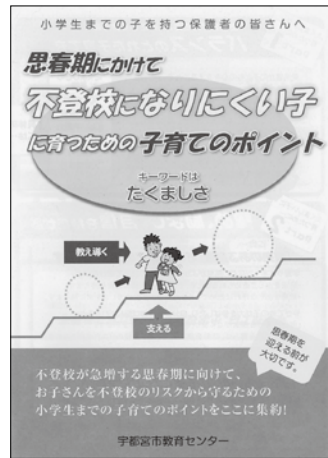
■不登校の減少を目指して 学校は、子どもたちが学力を身に付けるだけでなく、さまざまな人たちとの活動を通して、思いやりの心や規範意識、コミュニケーション能力などを育み、好ましい人間関係を築く大切な学びの場です。

しかし、さまざまな原因やきっかけで学校に登校できない不登校児童生徒が全国的に増えています。

本市では、教育相談の充実や適応支援教室の設置など、支援体制を整備し不登校対策を進めています。また、不登校になりにくい子どもを育てていく取り組みにも力を入れています。

■不登校未然防止リーフレット「思春期にかけて不登校になりにくい子に育つための子育てのポイント」を作成しました このリーフレットは子育ての基礎基本とも言えるもので、不登校の問題に限らず、将来、社会をたくましく生き抜く人を育てることにつながるものです。教育センター(天神1丁目)に置いてある他、教育センター☎<http://www.ueis.ed.jp>からも閲覧できます。

■教育相談 子育てや学校生活に関する相談を受け付けています。詳しくは、38ページをご覧ください。教育センター☎(639)4380へお問い合わせください。



思春期にかけて
不登校になりにくい子に
育つための子育てのポイント

1 子どもの心の安定や正しい判断力などを育てましょう 愛情豊かに子どもを支えること、正しく教え導くことが大切です。

2 「自分是可以る」「失敗したって大丈夫」と思える子を育てましょう 自信のないことにも挑戦させて、失敗しても全てを認めることが大切です。

3 子どもの状態や発達に応じた関わり方を考えましょう 心や社会性の発達には、一つ一つ着実な成長が大切です。

4 手を出し過ぎず、任せ過ぎず、親子で一緒に考えましょう 自分の長所を意識させたり、親自身の経験を話したりすることが効果的です。

若者の結婚や子育て家庭を支援し、少子化の流れを変える取り組み

核家族化、価値観の多様化などにより、今後ますます少子・高齢化の進行が見込まれています。少子化の流れを変えるため、次代を担う若者が将来の結婚や家庭・子どもを持つことに夢を持ち、その希望をかなえるためには、どのような取り組みが必要でしょうか。

■増加する若年層の未婚率 若者の多くは結婚を希望しているものの、未婚率は年々増加しているのが現状です。30~34歳男性の約2人に1人、25~29歳女性の約2人に1人、30~34歳女性の約3人に1人が未婚の状況です(平成22年・国勢調査)。

■将来の結婚や子育ての希望を支援します 本市では、次の取り組みなどを進めていきます。▽家族観・結婚観を醸成するための意識啓発 結婚や子育てを具体的にイメージしていない若者に情報を発信し、結婚や子育てについて考える機会を提供するなど、家族観や結婚観を醸成していきます。

▽ライフプラン形成セミナーの実施 大学生などを対象に、卒業後、就職・結婚・家庭生活・子育てなど、人生における節目の時に自分自身が理想とする生き方ができるようライフプラン

の形成を支援するセミナーを開催します。

■「宮っこ子育て・子育て応援プラン」を策定しました このプランでは、結婚や子育ての希望を支援する他、すべての子育て家庭に対する子育てサービスの充実や、子どもの貧困対策・若者の社会的自立の支援を、少子化の流れを変える最優先の取り組みとして位置付けています。子育て家庭が愛情を持ち安心して子どもを生き育て、子どもたちが心身ともに健やかに育つことができるよう、取り組みを進めていきます。

☎子ども未来課☎(632)2342

